



# UNDPの水戦略

効果的水ガバナンスに向けて



国連開発計画(UNDP)  
United Nations Development Programme

# 「今、断固たる行動を」—— コフィ・アナン国連事務総長の言葉

「まず取り組むべきは、水と衛生です。

10億人を超える人々が安全な飲料水を確保できない状況にいます。

さらに、その倍の数の人々が不衛生な生活を余儀なくされています。

そして、毎年300万人以上の人々が、不衛生な水が原因で命を落としています。

今、断固たる行動を早急にとらなければ、2025年には世界人口の3分の2にのぼる人々が深刻な水不足に悩むことになるでしょう。これを避けるためには水へのアクセスを改善しなければなりません。また水の利用効率も高めなければなりません。たとえば、水を大量に消費する農業では『水一滴当たりの作物収量』を上げることが必要でしょう。そしてより良い流域管理が必要です。漏水を減らすことも必要です。なぜなら多くの都市では、水の総供給量の4割以上という驚くべき量が漏水として失われているからです。」

(2002年5月14日、国連総会での演説より)



## Water Strategy of UNDP

Approach towards Effective Water Governance



## 水とミレニアム開発目標(MDGs)

UNDPの水戦略は、MDGsとWSSD（「持続可能な開発に関する世界首脳会議」2002年9月南アフリカで開催）という2つの国際合意を合わせ、各国を支援する方針で策定されています。MDGsとは、2000年の国連ミレニアム・サミットで採択されたミレニアム宣言と、1990年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめられたものです。

ミレニアム宣言において、各国政府は貧しい人々の水へのニーズを認識し、環境と開発の本質的な関係を再確認しています。さらに、貧困削減と公平かつ持続可能な開発の実現に向けて、水管理を不可欠な要素として位置付ける等、総合的な開発戦略が必要であると明言しています。

## ミレニアム開発目標(MDGs)

MDGsは、2015年までに達成すべき目標として以下の8つを掲げています。

- |                             |                                    |
|-----------------------------|------------------------------------|
| <b>1 極度の貧困と飢餓の撲滅</b>        | <b>5 妊産婦の健康の改善</b>                 |
| <b>2 普遍的初等教育の達成</b>         | <b>6 HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延防止</b> |
| <b>3 ジェンダー平等の推進と女性の地位向上</b> | <b>7 環境の持続可能性の確保</b>               |
| <b>4 幼児死亡率の削減</b>           | <b>8 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進</b>   |

それぞれの目標達成を確かなものとするため、MDGsには、より具体的な18の「ターゲット」および進捗状況を測定するための「指標」が設定されています。

マーク・マロック・ブラウンUNDP総裁兼国連開発グループ（UN Development Group）議長は、2001年12月コフィ・アナン国連事務総長によって、国連システムにおけるMDGsの「キャンペーン・マネージャー」兼「スコア・キーパー」に任命され、MDGsの普及・推進に取り組んでいます。

## 持続可能な開発へ向けての水ターゲット

持続可能な開発の実現に向けて現在2つの具体的なターゲットが以下のように設定されています。

- 1 安全な飲料水へのアクセスを持たない人の世界人口に対する割合を2015年までに半減する。**
- 2 基本的な衛生環境へのアクセスを持たない人の世界人口に対する割合を2015年までに半減する。**

1番目のターゲットはMDGsによって設定されており、2番目は持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）によって新たなターゲットとして加えられました。



## B 水の課題

### 水資源に関する重大かつ複雑な課題

持続可能な開発や貧困撲滅の実現において、水は極めて重要な役割を果たします。水という人間の基本的ニーズを満たすことのできない状態が続けば、それは地表水・地下水の汚染増大や都市・農業・工業の間での水利用の競争激化を引き起こします。そうすると健全な生態系が実現できないばかりか、経済・社会的発展が望めず、政治的にも不安定になります。途上国では、水資源の不足と水質の悪化が開発の足かせになっています。特に貧しい人々への影響は深刻です。地球の気候変動が水需給に与える影響も大きく、これに対処するため、政策決定者や水の管理者は新たな取り組みを必要としています。水資源の課題は深刻化しており、今後更に難しくなっていきます。

### 最近の動向

#### 安全な水と衛生の欠如

- ・世界中で、11億人以上もの人々が、安全な飲料水を確保できていません。
- ・25億人もの人々が不衛生な環境に暮らし、そのほとんどが途上国の人達なのです。

#### 水不足

- ・世界人口の3分の1は、水の供給が不十分な国に住んでいます。
- ・現在のような水の使い方を続ければ、2025年には世界人口の3分の2が重度または中程度の水不足を抱える国に住むこととなります。

#### 浅層地下水（浅井戸）の汚染と枯渇

- ・浅層地下水は、貧しい人々にとって安全な水源ですが、その汚染と枯渇が進んでいます。

#### 水需要の増加

- 今後20年間で、
- ・人類の水使用量は40%増加します。
  - ・途上国で増加する人口を支えるための食糧生産に、今よりも17%多くの水が農業用水として必要になります。

#### 水管理と廃棄物処理

- ・現代の廃棄物処理方法、たとえば安全な飲料水を使って人間の排泄物を洗い流すような水依存型の下水処理方法は、経済的にも環境的にも負担が大きく、持続不可能です。

#### 洪水とかんばつの増加

- ・淡水生態系が劣化すると、かんばつ、洪水などの自然災害の頻度が増し、その被害も増大します。その影響は生態系の脆弱な地域では特に大きく、そうした地域は貧しい人々の居住地であることが多いのです。また淡水生態系の劣化は、共有の水資源をめぐる競争を激化させ、紛争の可能性を増大させます。

#### 水管理におけるジェンダーの問題

- ・途上国においては、水管理における女性の役割が大きいかかわらず、女性の意見が水管理に関わる意思決定に十分反映されていません。



## C UNDPの水戦略

### 水問題をガバナンスの問題としてとらえる

ミレニアム開発目標（MDGs）や持続可能な開発と貧困削減はUNDPの包括的な目標です。UNDPは水ガバナンスを優先させ、水資源管理と水供給向上を目指す各国、各地域社会に対する支援を拡充しています。草の根レベルから国レベルに至るまで、能力開発を強化し、持続可能かつ革新的な水ガバナンスを推進し、戦略的パートナーシップを継続させることに重きを置いています。

技術の新たな進展も、水の供給量を増やす方策も、現在直面している深刻な水問題を解決することはできません。解決の糸口は、水の使い方、管理の仕方を変えること、そして利害関係者が参加することによって見えてきます。

UNDPは、水ガバナンスの仕組みを正しく変えることこそ、持続可能な水資源管理を成功させる鍵と考えます。

### 地域社会の水ガバナンスへの革新的アプローチ

地域社会において水資源、水供給、衛生に関わる革新的な活動を支援することが不可欠ですが、UNDPは地球環境ファシリティー（GEF）のUNDP小規模グラント・プログラム（SGP）やUNDP都市環境地域支援プログラム（LIFE）といった既存の地域社会支援メカニズムを活用し、この支援を強化していきます。

### パートナーシップを基盤とする効果的な水ガバナンス

- ・持続可能な水管理と貧困撲滅の実現には、健全で効果的なガバナンスが不可欠です。
- ・水ガバナンスには、安全な飲料水の供給、水資源の持続可能な管理、衛生施設の整備が含まれます。
- ・効果的な水ガバナンスを促進するために、UNDPは地域社会、国、国際社会の各レベルで、官民両部門や市民社会を含めた幅広いパートナーと連携して活動しています。

効果的な水ガバナンスは、UNDPが各国で長期にわたり広範に活動してきた実績と、地球環境ファシリティー（GEF）を始めとする既存の信託基金を活用して実現されています。

### 効果的な水ガバナンスに関する対話

効果的な水ガバナンスを推進するために、UNDPは、世界水パートナーシップ（GWP）と国際環境自治体協議会（ICLEI）と協力して、「効果的な水ガバナンスに関する対話」を実施しています。

この「対話」の目的は、水ガバナンスのシステムの検討と、その向上のための行動戦略の策定にできるだけ多くの利害関係者の参加を促すことにあります。また、これは利害関係者間の情報交換と協力のための場を提供するもので、そこでは交渉、能力開発の強化、計画の共同立案と意思決定が信頼の輪の中で行われます。国によって文化・政治的伝統や体制が異なるため、議論される問題は各国が置かれる社会・政治的状况によって変化します。各国固有の問題もありますが、共通の経験を分かち合える分野も数多くあります。この「対話」は複数の利害関係者間の協議を促し、政治的協議の場に参加者を結集させる機会を与えるものです。







# UNDP's Support for Effective Governance of Water Resources and Service Delivery



2000年7月（パレスチナ）ガザ地区を視察する紺野美沙子UNDP親善大使。この難民キャンプでは、水不足と職不足が深刻である。

## D UNDPの取り組み：効果的な水ガバナンスを目指して

UNDPは、政策支援サービス、啓蒙活動、および戦略的パートナーシップの構築に力を注いでいます。これらの活動を通じてUNDPは、地域社会、国と地域、国際社会の各レベルでの水に関わる取り組みを、質が高く、一貫性があり、連携のとれたものとなるよう促します。UNDPは以下の6つのテーマを掲げて水問題に取り組んでいます。

### 1 水資源、水供給、衛生に関する地域社会レベルでの管理

新たな問題に対処するためには、国や地域社会レベルの水を扱う機関の強靭さ、柔軟性、適応力を高める必要があります。そのためには、政府も今までは違ったアプローチを考える必要があります。現状では、基本的な水の供給と衛生環境を人々に提供できず、水資源を持続可能な方法で管理することができなくなっている国が数多くあります。そこで地域社会レベルでの水管理が注目を浴びています。それぞれの地域が持つ技術や経験を活かした、分権型の水管理方法が形成されつつあります。また、家庭や地域社会を単位とした適切な水供給技術、下水設備、小規模灌漑などが新たに開発されています。

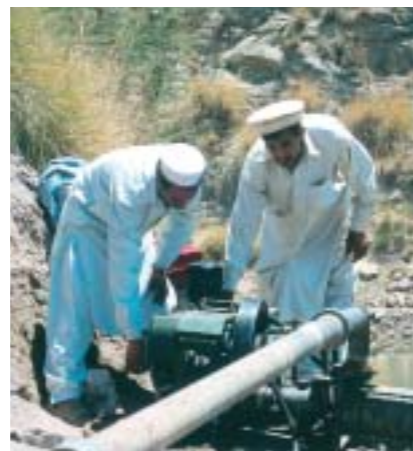
UNDPは、安価な水供給、下水設備、流域管理を実現するための小規模 грант と能力育成によって、貧しい人々の持続可能な生活手段の水準向上を目指しています。

現在の下水処理方法のような大量に水資源を消費する廃棄物処理方法は、持続可能なものではありません。UNDPは、信頼できる安全で安価な方法によって、人々の健康状態を改善し、水の使用量を減らし、汚染を防ぎ、排泄物の再生利用を目指す「エコロジカル・サンテーション（環境調和型衛生設備）」というアプローチを推進しています。

### 2 統合的水資源管理(IWRM)

UNDPは、効果的で公正かつ持続可能な水資源利用のために、各国の開発の枠組みにIWRMを組み込むことを推進しています。これは対話の促進と政策支援という形で実施されています。多様な立場にある関係者の参加を最大限に確保するため、UNDPは世界水パートナーシップ（GWP）と国際環境自治体協議会（ICLEI）と緊密な連携をとって活動しています。

海洋資源の管理強化も必要であるとの認識から、UNDPは、戦略的沿岸管理イニシアティブ（SIOCAM）というパートナーシップ・プログラムを運営し、海洋と沿岸域の持続可能な開発を推進しています。



© Rina Saeed Khan / UNDP

### 3 共有水域の課題

共有水域にある水資源については国際協力がきわめて重要です。過剰消費と汚染の影響を受けている水不足地域では特にそうです。多数の国々によって共有される水資源は、紛争の原因となりうる一方で、各国間の信頼と協力を醸成するための効果的な手段ともなりえます。

UNDPは国際河川流域を対象にした特別イニシアティブを設立し、沿岸諸国間の対話と、流域組織の形成を支援しています。

#### 共有水域の対話を促進する

UNDPの国際河川流域イニシアティブ・プロジェクトは、アフリカではナイル、ニジェール、セネガルの各河川流域、南米ではフリオリ川（サンファン川）流域、東南アジアではメコン川流域、中央アジアでも各国際河川で、それぞれの活動を支援しています。その他の流域も、河岸のパートナーとの合意のもとで、プロジェクトに加えていきます。各プロジェクトの具体的実施はそれぞれの流域の状況によって異なり、プロジェクトの進行状況、流域における協力と対立の歴史、そしてUNDPのこれまでの関わり方によって決まります。

### 4 水と気候変動

気候の変動と不安定さは、水資源の質と量に影響を及ぼします。貧しい人々の脆弱性を緩和し、持続可能な生活手段を強固なものにするためには、こういった影響を水管理のあらゆるレベルで十分に検討することが重要です。



© Pernacca Sudhakaran / UNDP

### 5 ジェンダー主流化

水資源管理におけるジェンダー主流化の促進は、平等性、有効性、効率、持続可能性を向上させることができます。UNDPは、水資源管理と衛生に関する活動に男女が共に参加できるよう、『水資源管理におけるジェンダー主流化についてのリソース・ハンドブック』を作成しました。

#### 『水資源管理におけるジェンダー主流化のリソース・ハンドブック』

このハンドブックは、水資源管理に関する計画立案、交渉、モニタリング実施のために作成されたものです。

ハンドブックは以下の内容を含み、簡潔でわかりやすい内容で構成されています。

#### 1 概要説明

ジェンダー問題と統合的水資源管理に関するUNDP水資源プログラムのアプローチを説明しています。

#### 2 プロジェクトサイクル・ガイド

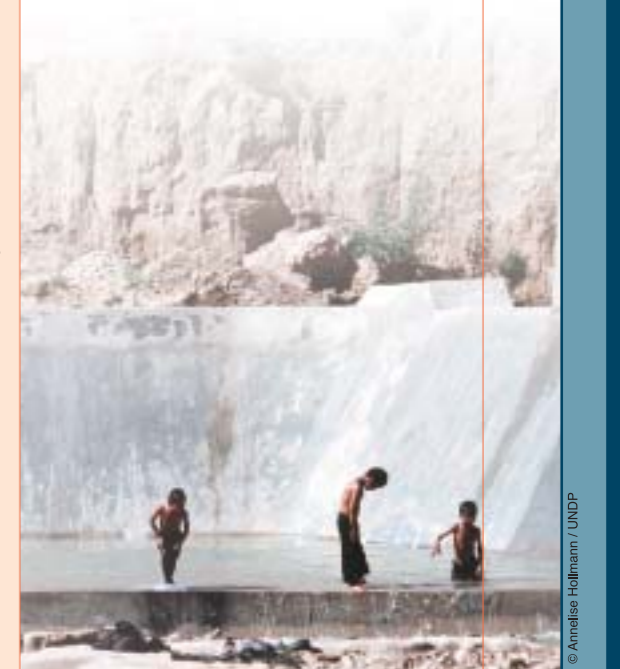
プロジェクトが一巡する中での段階ごとで問うべき質問が明記されています。

#### 3 ケーススタディ

UNDPおよび他機関の経験に基づいています。

### 6 効果的な水ガバナンス実現のための能力開発

ミレニアム開発目標（MDGs）の達成は、能力の育成が伴わなければ実現しません。Cap-Net（統合的水資源管理のための能力育成プログラム）は、水ガバナンスの向上を目指し、世界中の能力育成機関と連携して活動しています。地域主体であることと地域の要望に応えることが、能力育成を図るうえでの中心的原則です。この活動は革新的ツールの開発と事例に基づいた学習に裏打ちされています。（Cap-Net参照<http://www.cap-net.org>）



© Annelise Holmann / UNDP





## Partnership for Effective Water Governance

### E 効果的水ガバナンスに向けてのパートナーシップ

効果的な水ガバナンスを促進するため、UNDPは他の機関と協力しながら活動しています。UNDPがパートナーとして参加しているイニシアティブには、次のようなものがあります。

#### 地球環境ファシリティ( GEF )



GEFは、地球環境を守るための信託基金として設けられた資金メカニズムで、国連開発計画(UNDP)、国連環境計画(UNEP)、世界銀行という三つの実施機関との協力と連携のもとに運営されています。近年、7つの執行機関(4つの地域開発銀行及びFAO、IFAD、UNIDO)がGEFファミリーに加わりました。UNDPは実施機関として、国際水域に関わる重要なGEFプログラムを管理・運営しています。またUNDPが実施するいくつかのGEF生物多様性プロジェクトは、沿岸、海洋、淡水生態系を対象としています。GEFのパートナーとして、UNDPはGEFの小規模グラント・プログラム(<http://www.undp.org/sgp/>) および国別対話ワークショップという2つの共同事業も管轄しています。

<http://www.undp.org/gef/>

#### 世界水パートナーシップ( GWP )

UNDPはGWPの設立に貢献しました。GWPは、現在でも水ガバナンスと統合的水資源管理(IWRM)においてUNDPと緊密な関係にあるパートナーです。各地域・国とGWPが結んでいる新しいパートナーシップは、UNDPがIWRMの活動を地域、国、地域社会の各レベルで支援する上で重要な役割を担います。

<http://www.gwpforum.org>

#### 戦略的海洋沿岸管理イニシアティブ( SIOCAM )

SIOCAMは、持続可能な開発を促進する海洋・沿岸管理プロジェクトの有効性を高めることを目的とした、UNDP、国連諸機関、および外部組織とのパートナーシップ・プログラムです。

<http://www.sdn.undp.org/siocam>

#### 水と衛生計画( WSP )

WSPは、かつてUNDP-世界銀行・水と衛生計画と呼ばれていたプログラムです。グローバルネットワークとして確立されているWSPは、幅広い層に支えられたパートナーシップで、15を超える二国間・多国間援助機関の資金により運営されています。WSPはUNDPの水供給と衛生に関するプロジェクトに助言を与える重要なパートナーです。

<http://www.wsp.org>

#### 水供給衛生協調会議( WSSCC )

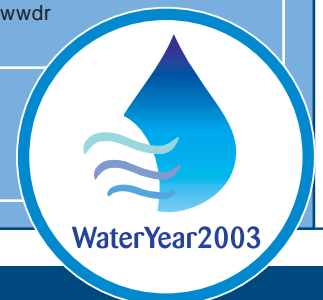
UNDPは1990年におけるWSSCCの設立に貢献し、以後10年間、運営に密接に関わりました。今日、UNDPが水供給と衛生の普及を全世界で推進するうえで、WSSCCは重要なパートナーです。

<http://www.wsscc.org>

#### 世界水開発報告書( WWDR )

国連諸機関との連携の下、UNDPは国連行政調整委員会水資源小委員会(現在UN-Waterと呼ばれている)のメンバーと密接に連携して、WWDRの定期的刊行を目指しています。WWDRは2003年、日本で開催される第3回世界水フォーラムで発表される予定です。UNDPは水ガバナンスに関して中心的な役割を果たし、その適切な指標の開発を進めています。

<http://www.unesco.org/water/wwap/wwdr>



#### 国連開発計画(UNDP)とは：

国連開発計画(UNDP)は、国連システムのグローバルな開発ネットワークとして、変革への啓蒙や啓発を行い、人々がよりよい生活を築けるよう、各国が知識や経験や資金にアクセスできるよう支援しています。われわれは、166カ国で活動を行い、各国の人々と共に、グローバルな課題や国内の課題に対し、それぞれの国にあった解決策が見出せるよう取り組んでいます。それぞれの国の能力強化にあたっては、UNDPのスタッフの知識や幅広い分野のパートナーシップが役立っています。

#### UNDP東京事務所

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 UNハウス8F Tel : 03-5467-4751 FAX : 03-5467-4753 <http://www.undp.or.jp/>

#### UNDP Headquarters

One United Nations Plaza New York, NY 10017, USA Tel : (+1) 212-906-5558 Fax : (+1) 212-906-5364 <http://www.undp.org/>